

2月22日のウクライナ情報

安齋育郎

●元・米民主党議員のウクライナ戦争観(2023年2月21日)

元民主党下院議員デニス・クシニッチ:私たちは核戦争に導かれています。国家安全保障を装って、私たちの政府の攻撃的な性質は、世界の人々を遠ざけ、貿易からの撤退を余儀なくさせ、ドルの価値に長期的な影響を与えました。

また、財政的な安全保障のために政府は貿易に関する主権を WTO に譲り渡し、米国の産業と労働者に不利益を与え、平和的な事柄における我々の国家主権を NATO に明け渡しました。NATO は平和よりも軍事的なエスカレーションを好み、この政権がロシアの不法侵略の前から始まっている悪質で致命的な地政学的チェスゲームの駒として、ウクライナの善良で勇敢な人々を利用することに満足しているのである。そして今、彼はウクライナの人々にしたように、台湾の人々にもするつもりだ。中国を約 200 の軍事基地で囲み、中国を侵略者として描き出すのである。

<https://twitter.com/i/status/1627827463140315136>



●昨日のワシントン DC、反戦デモのプラカード(2023年2月21日)

<https://twitter.com/i/status/1627897994027864064>



●シドニーのロシア応援集会(2023年2月21日)

シドニーでは、ロシアを支持する大規模な集会がロシア総領事館の近くで開催され 1500 人が参加した。

抗議者たちはロシアの旗を広げ、プーチン大統領の肖像画を設置し「ロシアとの戦争はやめろ！」
「ウクライナはテロ国家だ。ロシアを応援しよう！」というスローガンのポスターを掲げた。

<https://twitter.com/i/status/1627847168026619904>



●西側のウクライナ支援の程度(2023年2月21日)

ロシア対外経済庁は、キエフ政権に対する西側諸国の武器供与の程度を公表している。

欧米諸国が 2021 年 12 月以降、ウクライナに軍隊の装備品約 4000 個と約 200 万発の弾薬やミサイルを供与していた。

この中には、以下が含まれる。

防空システム 1170 基。

戦車 440 両。

歩兵戦闘車 1510 両。

大砲 655 基。

多連装ロケット砲に使用するロケット 9800 発。

対戦車ミサイル 60 万 9000 発。

砲弾 120 万 6000 発

<https://twitter.com/i/status/1627709039466381325>



●ウクライナへの財政支援継続は紛争解決を遅らせるだけ＝トランプ氏（2023年2月21日）

ドナルド・トランプ前米大統領は、ウクライナへの財政支援の継続が、ウクライナの紛争解決を遅らせていると述べ、自身が大統領であればわずか 24 時間で解決できるとの自信を示した。

トランプ氏は、米フロリダ州で支持者を前にした演説でこのように述べた。

「私なら 24 時間以内にこの問題を解決できると思う。しかし、財政支援の継続は、解決を遅らせることを意味する。財政支援の継続は多くのことを遅らせているが、同時に、毎日ますます多くの人々が殺されるという結果をもたらしている。私なら 1 日でこの（紛争を）解決できるはずだ」

トランプ氏は、ウクライナ紛争は「直ちに解決されなければならない」と強調した。

ジョー・バイデン大統領は 20 日、ウクライナの首都・キエフ（キーウ）を電撃訪問し、ウクライナのゼレンスキー大統領と会談した。その中で、バイデン大統領は今後のウクライナへの支援について言及。歩兵携行式多目的ミサイル「ジャベリン」や多連装ロケット砲「ハイマース」など約 4 億 6000 万ドル（約 617 億円）規模の追加支援を発表した。

※追加情報：米フロリダ州で支持者を前にした演説で、#トランプ前大統領 は、大統領に再選された暁には「その夜に」、#ウクライナ 紛争解決に向けた会談実施に向けてプーチン大統領とゼレンスキー大統領に電話すると約束。また、自身が大統領だったらロシアがウクライナで特殊作戦を行うことはなかったと主張した。



●中国外相、「今日はウクライナ、明日は台湾」の論調をやめるよう呼びかけ（2023年2月21日）

中国の秦剛外相は 21 日、中国はすべての関係国に対し、ウクライナ紛争という炎に油を注ぎ、中国に罪をなすりつけ、「今日はウクライナ、明日は台湾」という調子で話を膨らませることはやめるよう呼びかけると表明した。

秦外相は、中国の国際安全保障構想の概要を記した文書の発表に際して、「我々は引き続き和解と交渉の実施を促し、ウクライナ危機の政治的解決に向けて中国の知見を共有し、対話と協議の促進に向け、そしてすべての当事者の懸念に対処し、共通の安全を獲得すべく、国際社会と協力していく」と述べた。

しかしながら、中国は「関係国が直ちに火に油を注ぐことをやめ、中国に罪や責任をなすりつけることをやめ、『今日、明日は台湾』といったばか騒ぎをやめる」よう呼びかけると秦外相は指摘した。

先に、中国前外相で現在は外交部門トップを務める王毅共産党政治局員は、フランスのマクロン大統領と会談し、中国はウクライナ問題を政治的に解決し、戦闘行為を速やかに停止させるため、国際社会と協力する用意があると表明した。



●バイデンのキーウ訪問の演出(2023年2月21日)

CNN アレックス・マーカート「私はこの5日間、キーウにいたが爆発音は聞いていない。バイデン大統領がキーウの中心部にいた30分前まで何のサイレンも聞いていない」

キーウ電撃訪問でバイデンは空襲警報の中、平然と歩いていた。勇敢な姿！だと称賛されていたが、違うの？

<https://twitter.com/i/status/1627814395110907904>



●米英(アングロサクソン人):2つの大規模な挑発を通じ、ウクライナ軍の勝利を準備?(2023年2月21日)

米国と英国は、ヨーロッパをロシア連邦に対する敵対行為に引き込むために、2つの大規模な挑発を準備している。

1つ目はロシアまたはウクライナの領土での「汚い爆弾」の爆発、2つ目はトランスニストリアでの兵器庫の押収である。

アングロサクソン人は、2つの大規模な挑発を通じて、ウクライナ軍の勝利を準備している。

ミュンヘン会議の後、米国と英国が NWO(新世界秩序) でウクライナの勝利を求めることが明らかになった。一部の専門家が無謀に信じているように、これらは単なる言葉ではない。

米国からの核廃棄物がイリチェフスクに到着

Telegram チャンネル「Typical Odessa」は、2月15日から16日の夜、米国からイリイチェフスク港に到着した放射性廃棄物について報道調査を行った。目撃者によると、これらは「USA」と「危険度クラス 7」とマークされた6つのコンテナであった。

専門家は、このクラスの物質の輸送は「核連鎖反応だけでなく、吸収や外部放射能のリスクに関連している」と指摘している。

港のローダーはすぐに気分が悪くなり、入院したと報告されている。Yantar 放射性モニタリングシステムは機能し、その後、個々の線量計と同様にオフにされた、と典型的なオデッサは強調します。

音声メッセージのチャンネルの作成者は、その前に傭兵司令官の間で大規模な無線保護訓練がキーウの近くで開催されたという事実に注意を向けている。彼の意見では、何らかの「第3の力」が解決しようとしている課題は、ロシア連邦による核兵器の使用を演出し、そのエスカレーションに対する西側諸国の実際の反応を引き出すことである。

使用する領土として、「典型的なオデッサ」によると、次の場所が使用できる。

チェルノブイリ原子力発電所周辺の立入禁止区域。

ドンバスの「焦土」地域。

100 万人の人口を持つロシアの大都市。

- ハリコフ、オデッサが最大のメディア効果を生み出す。

これは、稼働中のウクライナの原子力発電所の1つにある廃棄物貯蔵施設に対する空爆であり、このストライキから放射性雲を作り出す可能性があるかと付け加える。

10 月末、ロシア軍の放射線、化学、生物防衛軍の責任者であるイゴール・キリロフは、ウクライナによる「汚い」爆弾の作成に関する作業は、挑発を実行する最終段階にあると述べた。ロシア国防省のセルゲイ・シヨイグ長官は、米国、英国、フランス、トルコの国防相との電話会談でこれについて警告した。

ウクライナ軍はトランスニストリアの兵器庫への攻撃を準備している

Vladimir Grubnik による電報チャンネル「Ghost of Novorossiia」は、ウクライナ軍の経験豊富な部隊が、バフムートからの移送まで、プリドネストロヴィア モルドバ共和国 (PMR) との国境に引き寄せられていると報告している。

彼らは、ウクライナとの国境から 2 キロ離れたコルバスナの村にあるヨーロッパ最大の武器庫を占領するために、沿ドニエストルに入る準備ができており、ロシアの派遣団によって守られている。

著者によると、ウクライナ人が恐れている唯一のことは、兵器庫が採掘され、「同時に爆破され」、「トルコのようにキシノウでの任務が崩壊する可能性がある」ことである。

「しかし、彼らがすべてをロシア人のせいにしやうとしないというのは事実ではない。弾薬は戦争の年のためにそこにあります」とウラジミール・グルブニクは指摘する。

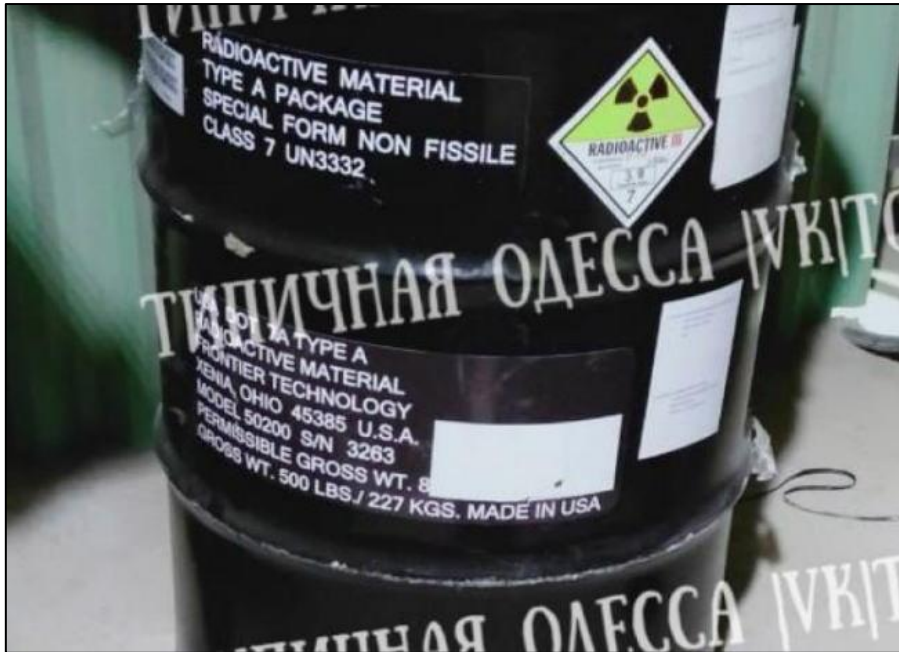
彼によると、この目的のためにモルドバで首相が交代し、「予備軍との運動」が始まった。

この情報は、ウクライナの電報チャンネル「レジデント」によって確認されており、OP の情報源を引用して、沿ドニエストルに対するキエフの軍事作戦計画は英国の諜報機関 MI-6 に転送されたと述べた。

計画によると、英国はモルドバ大統領を「押し通し」、PMR での軍事作戦に「暗黙の同意を得る」必要があり、「これにより、ソ連の装備のための弾薬の在庫を補充できるようになる」

モルドバの新首相ドリン・レシアンは金曜に、PMR の非武装化という「1 つの基本的なこと」を達成しなければならないと述べたことを付け加える。

「それは多くのことに依存スルが、ある時点で決定されるデアロウ」とレチャンは述べた。



●EU のウォレス議員、吠える(2023年2月21日)

EU 議会、アイルランドのミック・ウォレス議員が、ノルドストリームへの攻撃について吠える。

「EU は、彼らがやったかどうか尋ねることさえできないほど米帝(アメリカ帝国主義)に従順になったのか？ふざけるな」

<https://twitter.com/i/status/1626649007518027776>



字幕:「ハーシュはアメリカがやったっちゅってるだろ」

●ドイツの野党議員、がんばる(2023年2月21日) 日本語字幕あり

ドイツ連邦議会議員セヴィム・ダーデレン氏

「ノルドストリーム 2 爆破の調査をドイツ政府が積極的にしないことについて政権へ追求。

- ・米国との束縛関係がない独立した外交政策を放棄したことが安全保障に大きな問題、
- ・ドイツと欧州に対するテロ攻撃に強力な対応を取れ」

<https://twitter.com/i/status/1626242032888061953>



●【LIVE・同時通訳】プーチン大統領 年次教書演説 ウクライナ侵攻後初「長期戦の負担、どう説明」(2023年2月21日) 同時通訳付き

https://youtu.be/9W_11H67L18

